

次世代にいのちをつなぐタネ



伊東藏衛さん(江戸屋弘東園代表)

タネは誰のもの

監督・撮影・編集：原村政樹『お百姓さんになりたい』『武蔵野』『無音の叫び声』

プロデューサー：山田正彦 語り：江原啓之 音楽：鈴木光男 映像技術：宮崎 諒 整音：丸山 晃 収録：(株)モイ 取材協力：印輪智哉 協力：日本の種子(たね)を守る会/映画「武蔵野」製作委員会
企画：一般社団法人心土不二 予告編制作：大友頌平(一般社団法人SEA) 宣伝イラスト：佐藤ゆうこ&レン 配給：さろくびと 2020年/日本/カラー/65分 kiroku-bito.com/tanedare

Web予約
PC・モバイル共通
<http://bit.ly/3ag3KJy>



日時 2021年1月28日 木
19:00~20:10 (18:30開場)

会場 大竹財団会議室
東京都中央区京橋1-1-5セントラルビル11F

参加費 一般=500円
学生、大竹財団会員=無料
定員15名【要予約】

主催 一般財団法人
大竹財団

種苗法改定で登録品種は
自家増殖(採種)禁止の危機に



自家採種のタネ(日本豊受自然農)



由井寅子さん(日本豊受自然農株式会社代表)



瀨川守さん(当麻グリーンライフ代表)



矢吹淳さん(種子島サトウキビ農家)



広島県農業ジーンバンク



伊藤和久さん(自然耕房ホテルファーム)

2018年4月、種子法廃止
 そして2020年10月、種苗法改定案の国会審議が再び始まる
 急速なグローバル化の中であらためて問われるタネの権利とは

“グローバル種子企業が「タネを制するものは世界を制する」ということで独占し、公共のタネでなくなってしまう懸念がある”

鈴木宣弘教授
 (東京大学大学院農学生命科学研究科教授)



生産者と育種権者
 それぞれの思い——

“種苗法が改定されれば、
 私たち育種家は助かります”

林慎悟さん
 (林ぶどう研究所代表)



2020年6月に国会成立が見送られ、継続審議となった種苗法改定の動きに対して賛否が渦巻く中、自家採種・自家増殖している農家と種苗育成農家の双方の声を伝えるため、北海道から沖縄まで様々な農業の現場取材。政府が拙速に改定を成立させようとしている中、種苗法改定(案)が日本の農業を深刻な危機に陥れる可能性を、専門家の分析も含め農業の現場から探った——



監督・撮影・編集: 原村 政樹 (はらむら・まさき)
 1957年、千葉県生まれ。大学卒業後、フリーの助監督を経て1988年に桜映画社に入社。同年、アジアの熱帯雨林破壊問題をテーマにした短編映画「開発と環境」で監督デビュー。以後、記録映画やテレビドキュメンタリーを多数手掛ける。主な作品に『海女のリャンさん』(2004年)、『いのち耕す人々』(2006年)、『天に栄える村』(2012年)など。2015年、『無音の叫び声』制作を機に、フリーの監督として独立、『武蔵野』(2017)、『お百姓さんになりたい』(2019)を制作。

監督・撮影・編集: 原村政樹 プロデューサー: 山田正彦
 語り: 江原啓之 音楽: 鈴木光男 映像技術: 宮崎 諒 整音: 丸山 晃
 収録: (株)モイ 企画: 一般社団法人心土不二 取材協力: 印鑰智哉
 協力: 日本の種子(たね)を守る会/映画「武蔵野」製作委員会
 予告編制作: 大友頌平(SEA) 宣伝イラスト: 佐藤ゆうこ&レン
 配給: きろくびと 2020年/日本/カラー/65分



八木岡努さん(JA茨城県中央会会長) 山本伸司さん(種子島サトウキビ農家) 古谷慶一さん(有機農家、栃木県大田原市)

タネは誰のもの

kiroku-bito.com/tanedare



上映会のご予約・お問い合わせ 一般財団法人 大竹財団

東京都中央区京橋1-1-5 セントラルビル11階
 JR東京駅八重洲中央口から徒歩4分(八重洲地下街24番出口右階段すぐ)、
 東京メトロ京橋駅7出口から徒歩3分、東京メトロ日本橋駅B3出口から徒歩4分

https://ohdake-foundation.org 03-3272-3900



スマートフォンのQRコードアプリで読み取ると、現在地から会場までのアクセス方法が検索できます

